

平成 24 年度第 4 回青森市景観審議会 会議概要

会議名	平成 24 年度第 4 回青森市景観審議会
開催日時・場所	平成 25 年 2 月 8 日（金） 13 時 30 分～16 時 30 分 青森市役所本庁舎 第二庁舎 2 階 庁議室
出席者	< 青森市景観審議会委員 > 安保委員、板垣委員、近藤委員、斎藤委員、櫻田委員、佐々木委員、須藤委員、竹浪委員、対馬委員、藤川委員、水尻委員、山本委員 < 事務局 > 都市整備部：工藤理事、小野次長、木村次長 都市政策課：長井課長、工藤副参事、今野主幹、中堤技師 < 事業課 > 地域サービス課：内田課長、吉田主査 浪岡事務所総務課：棟方課長、長谷川主幹 浪岡事務所都市整備課：舘田主幹、木村主査 教育委員会浪岡教育事務所教育課：鳴海課長、阿部主幹 青森地域広域消防事務組合消防本部庶務課：長谷川主幹 設計委託先 (株)鳳建築設計事務所：工藤、佐藤 株式会社まちづくりフォーラム：横山、佐藤 (有)花田設計：花田 内山建築設計事務所：岡澤、柴田 企業局水道部整備課：我満主幹、白濱主査
欠席者	石澤委員、玉熊委員、西塚委員、森内委員
担当課	案件 1【横内支所の整備（横内市民センター増築工事）】 【資料 1】横内支所の整備（横内市民センター増築工事）資料に基づき説明。
櫻田委員	計画地はセンターの後方になるのか。
担当課	今、建築営繕課からアドバイスを得て進めているところだが、正面の景観を壊さないように、例えば学習スペースのある棟と体育館の間に増築するというのが一案としてある。
佐々木議長	市民センターの東側はどのような利用をしているのか。
担当課	未利用地だが、降雪期には雪の堆雪場として使っている。
水尻委員	現在の横内支所は今後どうするのか。
担当課	用途廃止をして解体する予定だが、地域の皆様の意見も聞いていきたい。
斎藤委員	現横内支所の跡地には何か計画があるのか。
担当課	地域の皆様のご意見を踏まえて検討していく。

山本委員	増築規模が50㎡程度だが、今の横内市民センターが1570㎡くらいあるのでその中に取り込むことは難しかったのか。
担当課	教育委員会と協議してきたが、教育委員会の主張として最低限今のスペースは確保したいとのことだったので、増築することとした。
佐々木議長	私からひとつ、意見というわけではないが、今の横内支所の窓口は雰囲気があり、映画で後々見えそうな古い窓口がある。残せとまでは言わないが、なくしてしまうのも少しさびしい。
担当課	長年にわたって地域の皆様に愛された窓口であるのでそういう雰囲気があるのだと思う。木造建築でかなりの年数がたっているため、今後使用していくのは難しいだろうと判断した。
佐々木議長	植栽は今回計画しないのか。
担当課	横内市民センター南側に児童遊園がありますし、また、横内市民センターの指定管理をしている方々の自主的な活動で、敷地内に花壇を造っていただいております。地域の皆様に親しんでいただいているので、継続していただきたいと考えている。
板垣委員	増築部分が通り沿いから目立つ場合は、とってつけたような増築に見えないようにしていただきたい。
担当課	参考にする。
佐々木議長	いろいろ意見が出たが、とってつけたような増築にならないように配慮して設計に入っていただくということで、この案件については異議なしと判断する。
担当課	案件2【浪岡庁舎周辺整備事業】 【資料2】浪岡庁舎周辺整備事業資料に基づき説明。
齋藤委員	建物については中世のイメージにこだわっているが、植栽についても中世のイメージとするならば、樹種についても検討しなければならない。例えばサクラのソメイヨシノは中世にはなかった。 また、既存の樹木を残すのであれば、かなり弱っているものもあるため、土壌改良など、何らかの手をうつ必要があるのではないかと。
山本委員	現在の計画地は、色々なデザインが入り組んでいて統一感がない。今回、新築する中央公民館、消防署、車庫・倉庫のデザインコンセプト「中世の里なみおか」というのは異論ないが、腰壁に化粧型枠を使って板張り風に見せているのがよく分からない。 また、その部分に色が抜けやすいリシンを吹き付ける設計だが、数年後には色があせてしまうのではないかと。

担当課	外壁の素材については、現在、設計の概算をたてている段階だが、予算に余裕があるのであれば耐候性の高い塗料に変更していきたいと考えている。 また、外壁の腰壁はコンクリートにリシンを吹き付ける設計だが、中世の時代にコンクリートがないことから、木の鎧張りをイメージして化粧型枠を使って木の質感を出したいと考えている。
藤川委員	中世のイメージというが、中世と江戸時代の違いがあまりわからない。 また、色については、白と黒はとてもきついイメージがある。公民館は人が集まり、とても賑やかで笑顔があふれているというイメージだが、これだと人をシャットアウトするようなイメージで、公民館には見えない。
担当課	中世は日本史でいうと鎌倉時代から安土桃山時代をいい、使われた材料もかなり限られていて、建物の形も単純な切妻屋根が多い。江戸時代になると若干洋風の雰囲気が出てくる。 色については、道の駅や中世の館をイメージして、土塗り壁風の茶色を明るくした色など、現在検討を重ねている段階なのでまだ決定したものではない。これから意見をいただいて検討させていただきたいと思う。 デザインについては様々検討した結果、今回の立面の形状を提案させていただいている。
対馬委員	私の感覚では、今回のデザインが蔵に見える。白と黒なので、いわゆる都会的なイメージである。
担当課	真っ白、真っ黒ではなく、コンクリートの素材に色を何回か吹き付けて、色の濃淡やムラを表しながら木の質感に近づけたいと考えている。無機質的な白と黒のイメージではない。
佐々木議長	色調としてはそれぞれの建物で合わせようということか。
担当課	消防署、公民館、車庫・倉庫にいても色調を合わせる。
安保委員	消防署と公民館と車庫・倉庫は同じ設計者か。
担当課	同じ設計者ではないが、各部署で連携し、デザインや色について全体で統一感を持たせるようにしている。
対馬委員	敷地内にある総合保健福祉センターや浪岡庁舎はどのような色か。
担当課	浪岡庁舎は白っぽい外壁である。総合保健福祉センターは屋根がシルバーで、壁は若干茶色味を帯びた色である。
対馬委員	周辺の既存の建物と統一感のある色にしたほうがよいのではないか。ここだけ黒にするのは違和感がある。
佐々木議長	黒にしても白にしてもまだ決定ではないとのことである。

齋藤委員	黒の比率をもう少し小さくすることはできるのか。イメージが変わると思うが。
水尻委員	同じような意見だが、新築する公民館、消防署、車庫・倉庫については統一感があるが、既存の建物とはマッチしない感じがした。バランスが悪くなるのではないか。
担当課	計画敷地の隣に既存で浪岡高校の武道館があるが、白い壁と黒い屋根となっている。また、既存の浪岡庁舎も屋根の色は若干違うが、白っぽい外壁である。そして、既存の総合福祉センターは屋根がシルバーで、全体的に白いイメージである。 これを踏まえ、新たに建てる公民館、消防署、車庫・倉庫についても、白と黒を基調とし、中世というイメージを出したい。 江戸時代であれば弘前城のように石垣や白い壁が出てくるが、中世というどうしても土くさい土壁のイメージになってしまい、暗くなってしまうため、漆喰壁の白と、焼杉の木材をイメージの黒を貴重としたデザインで考えている。 材質がまだ確定しておらず、また、塗り方の加減で色彩は若干変わってくると思うので、周辺の建物とマッチした色でいきたいと考えている。
山本委員	今こうして議論しているが、これを反映させることは今から可能なのか。春から事業として施工者の選定に入るのであれば、今から覆すのはなかなか難しいだろうし、やれる範囲でやらなければならないのではないか。
担当課	屋根の形状については、難しいが、色についてはある程度修正ができる。
水尻委員	デザインコンセプトに「浪岡地区のランドマークとして魅力ある景観の創出」とあるので、外から見たときにランドマークとして見るようなものが何か欲しい。
齋藤委員	敷地に森の広場があるが、そこに何かシンボリックなものは入らないのか。
担当課	ランドマークとしては建物がメインで考えているので、建物の色で表現したいのだが、野外ステージや森の広場などのオープンスペースを一体で使って催し物ができるようにしており、そういったものでもランドマークというイメージを出したいと考えている。
近藤委員	ランドマークや色彩の意見が色々出ているが、色彩については既存の建物がそれほど派手なものではないし、白といっても暖色、寒色系があるため、提案いただいた色彩イメージで特に問題があるとは思わない。 何かランドマーク的なものが欲しいというのであれば、植栽などによって魅力的な場所にするとすることもできるのではないか。

担当課	植栽については現在検討中である。その中で色々候補としてはあるが、和的な感じにする方向で検討している。
藤川委員	森の広場に一本だけでもいいので大きい木があればいいと思う。クリスマスの時にはそれがクリスマスツリーになるし、灯りをつければ夜集まることも出来る。もしかしたらそこでねぶたを置くこともできるかもしれない。一本木があるだけでそこがランドマークになるのではないかと思う。
佐々木議長	ランドマークには色々なものがある。例えば彫刻的なものもあれば、植栽や建物でランドマークになるものもある。
山本委員	全体の配置の中で、最初に道路から見えるのは消防署である。公民館は奥まっているため、道路からは遠めで見ることになる。そのため、消防署も重要であると思われる。図 12 の道路側の西側立面図を見ると、消防車の出入り口の上に小さな窓が連続しているが、せめてこの窓の大きさをそろえると建物の印象がだいぶ変わらと思うので、今からできるのであればやっていただきたい。
担当課	2 階部分の車庫の上の窓は職員の仮眠室への採光の窓と、洗面所の部分の窓になっており、部屋の幅の関係で窓の間隔については現状の設計では修正できないが、窓の大きさについては修正が可能な範囲でやっていきたい。
竹浪委員	浪岡は歴史がある町で、中世にこだわるのはわかるが、中世が黒と白というのがどうなのか。先ほど中世が鎌倉から安土桃山という話だったが、白と黒のイメージというと私は戦国時代のお城のイメージであると思う。なぜ浪岡の中世のイメージが白と黒なのか、何かあればその辺を伺いたい。
担当課	実際に中世にあったものを復元するということではない。敷地周辺には中世の館、武道館などがあり、全体として中世のイメージを踏まえながら、あまり奇抜な色ではなく調和が図れるような色として白と黒としたところである。中央公民館については、黒石のこみせの古い感じをイメージしてデザインしている。
対馬委員	中世の館の壁と屋根はどんな色か。
担当課	(写真をスクリーンに映す) 上の右の写真である。
櫻田委員	景観の基本理念ということで、景観形成は地域の個性を伸ばすような多様な形成を図るべきであるということ、そして、景観形成には観光や地域の活性化の配慮が必要というようなことが謳ってあり、また、景観計画には歴史・文化地景観の保全・形成に努めるというのが謳っている。 中世がランドマークというのは発想として非常にいいと思うので、その辺

	を踏まえた色彩として進めていただきたい。
板垣委員	看板の話がないが、看板についてもバランスがとれて違和感のないよう進めていただきたい。
担当課	サインについても中世の木材のイメージをもって進めていきたいと考えている。既に浪岡地区でサイン計画が進められているが、それと歩調を合わせて考えたい。 色はこげ茶色をベースに考えている。そして、中世のイメージキャラクターのバサラくんを看板に入れたと考えている。 浪岡地区において、コンセプトを中世の里なみおかと決めたのは平成 4 年だが、その際に、中世の時代に貴族たちがかぶっていた烏帽子とだるま凧とを組み合わせたイメージキャラクターのバサラくんをつくっている。
佐々木議長	他いかがか。特になければ提案いただいたものについて、審議会としてはよしということにするが、色調や植栽についてはいくつか意見が出たので、採用可能な範囲で活かしていただくようお願いする。
担当課	案件 3【野沢 3 号配水池建設工事】 【資料 3】野沢 3 号配水池建設工事資料に基づき説明。
佐々木議長	新しく建設される 3 号配水池の前には高木の植栽はあるのか。
担当課	道路から 40m ほど離れており、目立たない位置にあることから高木の植栽は行わない。
水尻委員	移植する松はどのくらいの高さか。
担当課	資料 3 ページの写真 1 に写っている樹木になるが、5 m から 6 m くらいである。
山本委員	屋根はコンクリートか。
担当課	PC となっている。
山本委員	屋根にはグレーを塗るのですか。
担当課	そうである。
佐々木議長	他いかがか。特になければ提案いただいたものについて、審議会として了承する。
担当課	案件 4【浅虫系送水管耐震化事業 野内川水管橋築造工事】 【資料 4】浅虫系送水管耐震化事業 野内川水管橋築造工事資料に基づき説明。
齋藤委員	宮田橋を車で走った場合、車からトラスの天端は見えるか。
担当課	歩道面からの高さは 2m 程度である。

山本委員	これまでホワイトアイボリーを使用している理由を教えてください。
担当課	水道水に対する清潔感のイメージを出したいということで白を基調としている。
山本委員	14 ページを見ると、アイボリーとグレーの案があるが、アイボリーのほうが管の水色と並べたときに綺麗に見えると思う。
佐々木議長	前回の審議会では、なるべく目立たない色にしてほしいという意見が出ていたが。
山本委員	実際にアイボリーで塗られているものが他の場所にあるが、それを見るとさわやかでいいなと感じた。
佐々木議長	色彩についてアイボリーのほうが良いのではないかという意見があったがいかがか。
近藤委員	明るい色の近くにあれば水色の発色がよくなり、暗い色のそばだと暗く見えてしまう。水色を見せたいのであればアイボリーのほうが明るく見えると思うが、前回、目立たなくしてほしいとの意見を出していることからホワイトグレーのほうが利になっていると思う。
板垣委員	私はみちのく有料道路をほぼ毎日のように使っているが、この場所はとても景色のいい場所なので、色を抑えていただきたい。
須藤委員	水色をもう少し薄くすることはできないか。
担当課	管の色については、維持管理のしやすい今回提案した水色にしたいと考えている。 ¹
佐々木議長	アイボリーとホワイトグレーについて何か意見はないか。
山本委員	構造物が非常に綺麗なので、あえて見せていくということでも問題ないのではないと思う。
櫻田委員	前回の審議会の意見であるホワイトグレーを尊重したほうがよいと思う。
山本委員	造る側としてはどう考えているか。
担当課	水管橋はこれまではアイボリーと水色の組み合わせでやってきており、市内の水管橋の統一性を持たせるためにこれまでと同じ色でやりたいという思いはあるが、前回の審議会の意見を尊重して今回ホワイトグレーということで提案させていただいた。
山本委員	次に新しく造る水管橋はどのようにするのか。
担当課	従来水道部で採用している色で考えている。
山本委員	既存の塗装の塗り直しの場合はどうか。
担当課	小規模なものは今まで水道部で使っているアイボリーを考えているが、大

	規模なものであれば、審議会にかけて意見をいただくことになると考えている。
須藤委員	前回決めたアイボリーでよいのではないか。今回また違う意見というのはどうかと思う。
佐々木議長	それでは前回の意見であるホワイトグレーとさせていただく。他いかがか。特になければ提案いただいたものについて、審議会として了承する。
	終了